

「市の財政状況と経営改革」住民説明会会議録

1 会議の名称	「市の財政状況と経営改革」住民説明会
2 開催日時	平成 26 年 10 月 20 日（月） 19 時 00 分～21 時 15 分
3 開催場所	峰上地区公民館
4 審議等事項	持続可能な行政運営に向けて
5 出席者名	（説明員）佐久間市長、高橋副市長、小泉総務部長、 刈込企画財政部長 （事務局）小柴行政管理課長、重城財政課長 （司会）笹生総務課長
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第 23 条第 号に該当 （理由）
8 傍聴人数	137 人（定員 人）
9 所管課	総務部行政管理課行革推進係 電話 0439-80-1211
10 会議録（発言の内容）	別紙のとおり

「市の財政状況と経営改革」住民説明会会議録

発言者	発言内容
総務課長	<p>定刻となりましたので、始めさせていただきます。</p> <p>本日は、夜分お疲れのところ、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>ただ今から市の財政状況と経営改革に係る住民説明会を開催させていただきます。</p> <p>今回の説明会につきましては、先の新聞・テレビ等の報道につきまして、改めて市民の皆さまにお伝えすることを目的として、市内小学校区 11 地域で開催するものでございます。</p> <p>次に、説明の前に本日の説明員の紹介をさせていただきます。</p> <p>市長の佐久間清治でございます。</p> <p>副市長の高橋恭市でございます。</p> <p>経営改革等を主管する総務部長の小泉義行でございます。</p> <p>財政運営等を主管する企画財政部長の刈込幹夫でございます。</p> <p>申し遅れましたが、本日の司会進行を務めさせていただきます総務部総務課の笹生と申します。よろしくご協力をお願いいたします。</p> <p>次に、説明資料がお手元にあるかご確認をお願いいたします。大丈夫でしょうか？</p> <p>最後になりますけれども、質問につきましては、市長以下説明員の説明の後にお受けしたいと思いますので、あらかじめご了承くださいようお願い申し上げます。</p> <p>なお、説明を含め、一応の終了の目安を午後9時とさせていただきますと存じますが、状況により変更はさせていただきます。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、始めに市長から説明申し上げます。</p>
市長	<p>皆さん、こんばんは。</p> <p>夜分、お疲れのところ、また、本来であればお寛ぎの時間にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>この度、富津市の財政状況につきまして、新聞やテレビ等の報道、そして、インターネット等の記事を通して、住民の皆さん方に、ご不安とご心配をおかけしましたことについて、改めて説明を申し上げに参りました。</p> <p>座って説明させていただきます。</p> <p>まず、皆さま方にお知らせしなければいけないことは、富津市は、これまで赤字を一度も出したことはございませんし、また現在、赤字になっているわけではございません。</p> <p>今回、記者発表させていただきましたのは、このまま何もせずに行政運営を続けていくと、財政状況は赤字になり、5年後に財政破たんしてしまう可能性があるということでございます。</p> <p>富津市では、これまで安全・安心のための事業を優先して行ってきたこと、年々増加する社会保障費、また、税収の減少などによりまして収支不足が見込まれるなかでその財源不足を補うため、市の貯金でありま</p>

す財政調整基金を取り崩して参りました。

富津市の財政状況がこれまでと大きく違うのは、この財政調整基金が底をつき、平成 27 年度以降の赤字決算が現実のものとなったことからであります。

お手元に配布いたしました資料中段左の「収支見込みのポイント」をご覧ください。

このままでいきますと、平成 27 年度から 31 年度までの 5 年間の財源不足額は 28 億円、平成 30 年度には積み重なった赤字額が 22 億円となり、財政再生団体となる可能性のある極めて厳しい見込みであります。

財源不足を補うための財政調整基金残高は、わずか 2 億円であります。

現在、赤字になっているわけではありませんが、しかし、従前の財政収支改善策や、単年度の予算査定を中心とした歳出削減などの取り組みだけでは、この状況を克服することは困難であります。

そのために、これまでの財政運営だけに目を向けた改革ではなく、行政運営全体を見直す経営改革を断行するものでございます。

次に、資料最下段の四角枠、経営改革内容をご覧ください。

これまで皆さん方から問い合わせをいただいておりますが、基本的に住民サービスは適正に維持して参ります。

まず、「①将来に向けての財政基準の作成及び実行」ですが、ここにお示ししました取組みを中心とした経営改革のための具体的なプランを策定するとともに、これまで財政調整基金を取り崩して財源としてきた富津市の財政運営を反省し、当該年度の歳入をもって歳出を賄うなど財政規律を厳格化して参りたいと考えております。

次に、「②公共施設の見直し」ですが、現在の危機的な財政状況を招いた大きな要因は、多くの公共施設を建設する際に、財源とした起債の償還額とその維持管理費の増大にあるといえます。市として真に必要な施設だけを将来世代に良好な状態で残し、それ以外の利用度の低い施設や、維持管理費の高い施設などは、売却や広域化などを積極的に進めて参りたいと考えております。

次に、「③事務事業の聖域なき抜本的な見直し」、「1 税収の確保」であります。今後、税収の増加が見込まれない状況のなか、引き続き、滞納処分により税負担の公平性の確保をして参りたいと考えております。

「2 職員数の削減」ですが、現在の危機的な財政状況を回避するには、まず、内部経費を削減することに全力を尽くさなければなりません。歳出の大きな部分を占めます「人件費」の割合を削減することは当然であり、職員数の大幅な削減を実行して参りたいと考えております。

「3 行政サービスの見直し」であります。サービス水準を維持しながら、公共として将来にわたって提供すべきサービスの範囲はどこまでか、あらためて考える時期に来ていると思います。民間に任せるべき事務も多くなってきておまして、サービス提供のあり方は多様化しておりますので、公共の直接行うべき範囲、民間に委ねるべき範囲を考えあわせ見直していきたいと考えております。

「4 受益者負担の見直し」ですが、行政が、特定の方を対象とし、サービスの給付をする場合、無料ないし過度に低廉な料金で提供することは、公平性の観点から望ましいものではないと考えられます。行政サービスのコスト負担について、どこまでを「受益者負担」とするのか、見直して参りたいと考えております。

「5 民間活力の活用」ですが、行政サービスを受ける住民の皆さんにとっては、サービスの質が保証されることが一番重要であり、それが担保されれば、民間が供給する方が効率的である場合が多く見受けられます。行政サービスのなかでも、民営化・民間委託化が可能な分野は、費用対効果を考慮し、積極的に推進し、効率的なサービス提供を図って参りたいと考えております。

次に、資料下段右の「富津市経営改革会議」をご覧ください。

これら経営改革の内容を話し合うため、有識者で構成する「富津市経営改革会議」を設置いたしました。

今月 31 日の第 1 回会議をはじめといたしまして、議論していただくことを考えております。

最後に、この経営改革につきましては、私が先頭に立ち、職員一丸となって断行して参ります。

皆さまの更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、説明とさせていただきます。

次に、これまでの説明会での主な質疑内容について、ご報告をさせていただきます。

まず、今回の報告関係につきまして、「どうして夕張市と同じや破たんの報道が出たのか」、ということですが、先ほども申しあげましたとおり、財政調整基金残高が、底をついたことから、3 か月ごとに開催している 8 月 29 日の定例記者会見におきまして、経営改革の取り組みのなかで、中期収支見込みを発表いたしました。

この説明では夕張のようになります、破たんしますというような記者発表をしたわけではございません。このまま何もしなければ、5 年後には財政再生団体のレベルに達してしまうので、今の段階で抜本的な改革を実行すると発表いたしました。その際、財政再生団体の説明で、夕張市を例にしてお話ししたのは事実でございます。これが報道機関によって特別にクローズアップされたところがあると思います。

次に、「イメージダウン回復の戦略」ということですが、当たり前のことですが、できるだけ早く財源不足を解消し、そのことを住民の皆さんにお知らせすることができるよう、経営改革を断行して参ります。また、この間につきましても、改善状況をお知らせして参ります。

次に、財政状況について、「身の丈にあったというのはどういう意味か」ということですが、歳入の一般財源の規模をもって、すべての経費を賄うということでもあります。具体的には、中期収支見込みで見込んだ一般財源 110 億円程度を見込んでおります。

「固定資産税が減少するのはわかっていたのではないか」「計画の段階で先が見えなかったのか」ということですが、これもま

で富津市では 5 か年計画をはじめ、さまざまな計画を策定して参りました。ところが、リーマンショック、東日本大震災、障害者自立支援法など国の制度の相次ぐ見直し等の特殊要因があったにせよ、その計画が結果的に過大であったことは、真摯に反省しております。

次に、「市税の滞納額も財政悪化の要因では、徴収を強化すべきでは」ということですが、今までにも増して、滞納処分を強化して参りたいと考えております。

次に、「国保などの社会保障費の増加は県や市町村の問題ではない、国への提言を怠っているのではないか」ということですが、全国市長会などをおしまして、強く申し出ているところでございます。

次に、経営改革関係につきまして「経営改革での具体的な見直し対象」ということですが、普通建設事業費のうち未着手事業については、例外なく見直します。着手済みの事業につきましても、その効果を再検討し、見直しをいたします。

職員数は、抜本的にスリム化いたします。

公共施設は、適正な水準に保ちます。

財政状況が厳しいからと言って、介護、国保のような法定サービスは安定した状態で運営を行います。

個人の市民税・固定資産税などの普通税を引き上げるようなことは当然ながらいたしません。

次に、「学校統廃合にこれだけ時間を要している状況で、経営改革を短期間で断行できるのか、全てをゼロベースで見直さなければならない」ということですが、関豊小、環小が来年度から合併になります。これは、市側の意見だけでは進められませんが、現在教育部の方で計画を進めております、他の学校につきましても、順次地元のご意見を伺いながら、進めていきたいと考えております。

また、経営改革は短期的なもの、中・長期的なものとは区別して進める必要があります。経営改革会議はこれら市の考え方を提示して意見をもらうかたちとなります。

「改革にあたっての削減目標額は」ということですが、まずは来年度予算で 3 億円の赤字を解消する、最終的に、今後 5 年間で 28 億円の赤字を解消するとともに、災害等に備え、できるだけ財政調整基金を積み増しして参りたいと考えております。

次に、「どんな事業をやめるのかはつきり示してほしい」ということですが、

経営改革プランを作成するなかで、また、経営改革会議で議論していただき、示していきたいと考えております。

「特別職報酬と一般職の給与削減は実施しないのか」ということですが、現在私が 15%の報酬削減、また、一般職は 4%の給与削減などを実施しておりますが、特別職につきましては、更なる見直しを実施して参りたいと考えております。

「震災時の状況から、職員数削減以前に事務事業の見直しを優先すべきではないか」ということですが、当然、事務事業の見直しは実行して参りますが、並行して我々が標準と考える職員数まで削減を実

	<p>行して参ります。</p> <p>次に、「経営改革会議はどのような人で何名か」ということですが、国地方行政経験、会計制度に精通している大学教授 2 人、公認会計士 1 人、会社社長 1 人、県庁職員 O B 1 人の計 5 人でございます。</p> <p>既にそれぞれ内諾はいただいておりますけれども、現時点で正式に承諾をいただいている方がいらっしゃいますので、承諾をいただいてから公表する予定でございます。</p> <p>次に、「経営改革会議委員に市民を入れないのはなぜか」ということですが、抜本的な改革のためには、「しがらみ」のある市民、受益者では議論・検討しにくいのではないかと考え、今回は外部有識者としてただ今申し上げました委員構成といたしました。</p> <p>次に、その他について、「議会の取り組みは」ということですが、執行部とは別に、議会自ら、いろいろな角度からの改革を検討されているとお聞きしているところでございます。</p> <p>また、「市民との対話の機会が少ない」ということですが、過去、対話集会を何度か実施いたしました。今後も、他のテーマを含め、機会を作っていきたいと考えております。</p> <p>「市長の決意表明は」ということですが、現在の財政状況を回復させることが私の使命であります。私の任期中できるだけ早く住民の皆さんにより報告ができるよう、経営改革を断行して参ります。</p> <p>以上説明会での質疑ありました、主な件でございます。以上で報告を終わらせていただきます。</p>
<p>総務課長</p>	<p>続きまして、補足説明を副市長及び両部長からご説明申し上げます。</p>
<p>副市長</p>	<p>皆さまこんばんは。</p> <p>大変仕事終わりのお疲れの時間、このように大勢の皆さまに本日の説明会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>併せて、今回の私どもの財政状況のマスコミ報道によりまして、皆さま方に、大変なご心配をおかけしておりますことを、心よりお詫びを申し上げます。</p> <p>大変失礼ですが、私も着座にて説明をさせていただきたいと思えます。どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>ただ今、市長が申し上げました経営改革の取り組みにつきましては、市長の命を受けまして、私の指示により、市役所全庁を挙げ、既に取り組みを始めさせていただいております。市役所内部に関することにつきましては、あらゆる事務事業を広い視野と、可能性を諦めることなく、見直し、確認することを指示いたしますとともに、職員の提案や意見も取り入れ、作業に入らせていただいております。また、今後につきましては、経営改革会議のご意見を伺いながら、経営改革全般の方向性を取りまとめ参りたいと考えております。</p> <p>差し迫りまして来年度予算でございますが、できるものから即実行して参ります。</p> <p>本日は、この後、財政状況につきましては、企画財政部長から、これ</p>

<p>企画財政部長</p>	<p>までの行政改革の取り組みにつきましては、総務部長から説明をいたさせますので、お聞き取りいただきますよう、お願い申し上げます。</p> <p>皆さまには、今後の経営改革断行にご理解、ご協力賜りますようお願いを申し上げます。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p> <p>市長から先ほど「財政状況」について説明いたしました、私からは「このような財政状況に至った原因」につきまして、補足させていただきたいと存じます。失礼ですが着席させていただきます。</p> <p>本市におきましては、平成 11 年度にそれ以前の事業の借入金によりまして、債務が増大したことから「財政非常事態宣言」をいたしました。そこで、債務を減少させ危機的な状況を回避するために、平成 11 年に「財政健全化計画」を策定いたしまして、これに基づき財政の健全化に向けて計画を実行しまして、その効果により債務が減少いたしましたので、平成 17 年度には「財政非常事態宣言」を解除し、その後もそこで決めました、財政収支改善策を恒久的なものとしたしまして取り組んできたところであります。</p> <p>しかしながら、昭和 60 年ころが人口のピークになりますが、昭和 60 年から続く、生産年齢人口 15 歳以上 65 枚未満の人口でございまして、生産年齢の人口減少や、長引く景気の低迷によりまして個人や法人の市民税の減収や、本市の税収の根幹、幹となっております固定資産税の大幅な減収に加えまして、生活保護者の増加や、高齢化の進行によりまして障がい者や、介護を必要とする方々が増加いたしまして、扶助費、社会保障費関係でございまして、毎年増え続けまして、年々財政状況は厳しさを増しております。</p> <p>このような状況のなかで、歳入の減少に対応した職員の定員管理を中心といたします総人件費の抑制も不十分であったこと、また、近年、財政調整基金などを活用いたしまして、身の丈に合わない、総合計画をはじめといたします、様々な計画により事業を行ってきました事が、今般の状況に至った原因と考えております。</p> <p>また、環境要因としましては、財政力が全国有数の裕福団体でありました、袖ヶ浦市、君津市など圏域内の他市と歩調を併せまして、いろいろな事業を拡大してきたことも財政状況悪化の一因と考えております。</p> <p>最後になりますが、今回公表いたしました、来年度の財源不足は、3 億円でございます。これは、税収等の一般財源総額 110 億円に占める割合は 3%であります。これを夕張市と比較した場合、収支の不足額、赤字額が収入の一般財源の 700%、赤字が収入の 7 倍という数字でありますので、当市の場合は、状況は厳しいですが、夕張市の状況とはとはまったく異なり、比較にはなりません。</p> <p>経営改革の実行が前提となりますが、十分回復可能な数字であることをご理解いただければと思います。</p> <p>以上で私からの説明を終わらせていただきます。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
<p>総務部長</p>	<p>よろしくお願いいたします。</p>

	<p>私からは、今まで取り組んで参りました財政健全化対策、財政収支改善策、行財政改革につきましてご説明をさせていただきます。座って失礼させていただきます。</p> <p>まず、財政健全化対策を、平成 5 年度から 16 年度まで実施をして参りました。また、財政非常事態宣言を解除いたしました、平成 17 年度からは財政収支改善策を実施して参りました。</p> <p>これに並行して、行財政改革を、平成 11 年度から 15 年度までを第一次とし、平成 16 年度から 21 年度までを第二次、平成 22 年度から 24 年度までを第三次として推進して参りました。</p> <p>これらの実績でございますが、まず、歳入確保策といたしまして、これまでの影響額は約 48 億円、主な内訳といたしまして、未利用地の売却処分による影響額が約 2 億円でございます。</p> <p>次に、人件費の削減といたしまして、これまでの影響額は約 58 億円、主な内訳といたしまして、職員数の削減、特別職の報酬カットや職員給与の昇給延伸などの抑制、手当の引下げによる影響額が約 43 億円でございます。議員等の定数の削減や手当の見直しが約 10 億円、学校用務員の非常勤化が約 2 億円などでございます。</p> <p>次に、維持管理費などの削減額といたしまして、これまでの影響額は約 5 億円、主な内訳といたしまして、佐貫保育所と佐貫第二保育所の統合による影響額が約 2 億円、公共施設の管理運営といたしまして指定管理者制度の導入などによる影響額が約 9 千万円、市営バスの廃止が約 3 千万円、公共借地の見直しとして約 3 千万円などでございます。</p> <p>最後に補助金や交付金などの削減額といたしまして、これまでの影響額は約 6 億円でございます。主な内訳といたしまして、補助金等の見直しによる影響額が約 5 億円、これは、第一次行革から第三次まで、廃止が 58 件、削減等 57 件などでございます。</p> <p>総合計といたしまして、約 117 億円の影響額でございます。</p> <p>誠に簡単でございますが、以上で説明を終わらせていただきます。よろしく願いいたします。</p>
<p>総務課長</p>	<p>説明が終わりました。</p> <p>これからご質問を受けたいと思います。恐れ入りますが、ご質問につきましては、挙手にてお願いしたいと思います。指名いたしますので、それからご発言の方をお願いいたします。</p> <p>それでは、ご質問ございますでしょうか。</p>
<p>(市民①-1)</p>	<p>学校の耐震補強工事が 100%終わっているというのはすばらしいことだと思います。ただ、今まで努力してきたと言いながら、余計なものを作ってきているのではないか。例えば富津中のドームや、青堀の古墳記念館です。それらの説明をお願いします。</p> <p>田倉の方で富津スマートシティという計画が進んでいるそうです。ホームページを見ますと、市との協議を始めたと記載がありますが、説明をお願いします。</p>

<p>企画財政部長</p>	<p>学校の耐震化につきましては、平成 18 年度の調査に始まりまして、平成 21 年度から 25 年度までの耐震補強の工事で、本体の耐震化率 100%をクリアしております。11 校 28 棟整備し、工事費は、20 億円程度費やしております。</p> <p>富津中のドームですが、教育や災害時の避難場所という検討をしたなかで、多目的広場として整備しました。平成 18 年度から 20 年度で総工事費は 22 億円ほどかかっております。</p> <p>続きまして、史跡案内所ですが、内裏塚古墳周辺を富津市の有益な資源と考え、平成 22 年度から 23 年度にかけ、2,560 万円ほどの経費で整備しました。</p> <p>民間の大規模開発については随時関係会社と協議を行っておりますが、富津スマートシティのお話は受けておりません。</p>
<p>(市民①-2)</p>	<p>ホームページには市との協議を始めたとあります。もし、スマートシティを把握していないということであれば、クレームを入れていただきたいと思います。低濃度 PCB を含む難処理廃棄物を燃料とした発電所の建設という計画になっておりました。以前の説明では、そういった廃棄物の受入れはしないとのことでしたので、しっかり対応していただきたい。</p> <p>古墳記念館の利用状況は把握していないとのことですが、せっかく税金を使って建設したのであれば、きちんとしていただきたい。おそらく市議会で把握しているかと思うのですが、素直に建設されてしまうと議会が機能していないように思われます。18 人中 14 人がひとつの会派という非常に偏った状況です。その当たりの改革は考えているのでしょうか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>議会の改革については、議会の方で考えていると聞いております。</p>
<p>(市民①-3)</p>	<p>我々が納得できるような運営を進めていただきたい。説明が足りないというか、分かりづらいというか、濁しているというか。きちんと説明できるようにしていただきたい。経営会議についても随時、公開していただきたい。</p> <p>11 か所で説明会するとのことですが、各会場が 100 人程度しか入らない会場です。市民全体に説明するという意図が伝わらないので情報を明確にしてください、市民の声を受け入れていただきたい。</p>
<p>(市民②-1)</p>	<p>資料の最後ですが、明確な数字が入っていません。いつ、どこで、誰が、何年までに、どのようなことをするのかを教えてください。</p>
<p>総務部長</p>	<p>経営改革会議の内容ですが、第 1 回は、31 日に富津市の現状についてということで行います。今年度は、5 回ほど予定しています。</p> <p>明確な数字ですが、今後この会議のなかで進め方を含め、論議していきたい。ここでは期待している明確な数字、答えとはなりません。まずは、27 年度は収支で 3 億円赤字となりますのでこれを改善というこ</p>

	とで進めています。
(市民②-2)	Yahoo ニュースから 1 週間後に富津市ホームページに載せたのでは遅いです。早く出していただきたい。
(市民③)	先ほど、夕張市とは異なるということで安心はしたのですが、大々的にマスコミに取り上げられているということに便乗して、放射性廃棄物最終処分場を受け入れるのではないかと不安があるのですが。
市長	富津市が、候補地になったとは聞いておりません。 指定廃棄物に関する会議で、富津市は県内で 4 か所あるうち 2 か所あるということで、もし千葉県で指定廃棄物処分場を受けるのであれば、県内市町村で平等に負担してくださいと話してあり、賛成しているということはありません。
(市民④)	資料右下、財政調整基金の 22・23 年度が増加した要因は何ですか。
総務部長	22・23 年度は国からの臨時交付金があり、当初一般財源で計画していたものを振り替えることができました。その分余剰金が出ましたので、基金に積みました。
(市民⑤)	赤字を出さないよう、会議をして、その内容を我々に説明していただけるという理解でよろしいですか。
(市民⑥)	誤った報道がされたのであれば、すぐに訂正してほしいし、現状を話してもらいたい。なのに、プレゼンが少し上手ではないと思いました。この資料についての質問が出なければ、説明がありませんでした。まずここにいただいている資料についての説明がほしいです。 それと、先ほど市長が Q&A の形でお話されましたが、どこを話しているのか分かりませんでした。具体的な資料等、視覚からも分かるように話していただきたい。私達側に立った説明をしていただきたいです。分かるような資料を作っていただかないと質問ができません。せっかく集まっているのだから、反対意見が大いに出るような会にしてもらいたい。もう少し分かりやすい会を開いてもらいたい。 財政部長が先ほど袖ヶ浦市・君津市と行った事業がうまくいかなかったとのことですが、何がうまくいかなかったのですか。
企画財政部長	説明が悪うございました。 基盤整備や、サービスの水準を近隣の水準に合わせ、「身の丈」を逸脱した面や、背伸びをした事業を実施して参りましたのを、反省しております。
(市民⑦-1)	市には遊休の土地があるのではないかと思います。他市町村より安い単価でも売るといような考えはないのでしょうか。小さいことでも積

<p>総務部長</p>	<p>み重ねていくお考えはありませんか。それと、海岸線等もう少し PR をしたらいかがでしょうか。富津市は PR が足りません。</p> <p>市が売れる土地は、今までも処分して参りました。残りが 11 か所あります。広報等でお知らせして、入札ということで行っておりますが、現在は応札される方があまりいないという状況です。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>ご指摘の PR 不足は反省すべき点は多々あります。商工団体、観光協会とタイアップし進めておりますが、これまで交通網や道路網の整備で有効な施策が見出せず、人口が減っております。人・もの・資源等市のよいところに目をつけて PR をしていかなければならないと思います。</p>
<p>(市民⑦-2)</p>	<p>つまらない土地でも、安く手に入れば人口が増えます。ただ、市で持っている小さな土地でもなかなか売れませんよね。小さなことからこつこつやるしかないのではないのでしょうか。例えば湊には分譲地がありますが、道路が狭いために荒れ果てたままです。少し直せば入れます。そういった小さなことをぜひお願いします。</p>
<p>(市民⑧)</p>	<p>市民の声を聞くということですが、選挙で選ばれた議会の方が、ここに出てないと市民の声が届かない。市長に言っても議員が足を引張ったら進みません。議会の代表者が来ないと本当の声は届かないと思います。</p>
<p>(市民⑨)</p>	<p>今後、住民税・固定資産税を上げないということですが、本当ですか。君津市の場合、定住奨励制度があるとのことですが、富津市はありますか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>法律の改正はありますが、この状況の解消という点では、普通税の引き上げは考えておりません。</p> <p>PR 不足で恐縮ですが、富津市でも、3 年間の取り組みですが、来年 1 月 1 日まで、固定資産税年額 18 万円まで 7 年間定住奨励制度として取り組んでおります。</p> <p>ふるさと納税という仕組みもございます。こちらを活用し、収入の確保に努めて参りたいと考えております。</p>
<p>(市民⑩)</p>	<p>先ほど質問したつもりだったんですが、小さい物件でも売るつもりはあるのですか。小さいことからこつこつやるのが大切ではないでしょうか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>おっしゃるとおり、積み重ねだと思っております。</p>
<p>(市民⑪-1)</p>	<p>具体的なことが聞きたいという声があったのですが、例えば名古屋市のように、市長車を高級車から軽自動車にするとか具体的なことを聞きたいんです。</p>

	<p>それと、浅間山のバスストップを作るのかどうかそういった具体的なことを聞きたいんです。</p>
<p>市長</p>	<p>市長車ですが、今後処分する方向で進めております。 浅間山バスストップについては、佐貫以南の天羽地区の利便性を考え、JR 複線化できない状況もありますので、高速道路株式会社が、東関道館山線の 4 車線化に併せて建設する予定で進めております。</p>
<p>(市民⑪-2)</p>	<p>市長の話は、車を運転できる方が対象だと思います。 路線バスでは 1 時間に 1 本無い場合もあります。アフターケア例えばタクシーを半額にする、循環バスを増便する等は考えていますか。</p>
<p>市長</p>	<p>アクセスとすれば、バスストップの駐車場まで自家用車で行っていただく、今までより増便するというわけには行かないと思いますが、バスストップを使うと片道 30 便あったものが、倍になるということで、今あるバスについてもルートを伸ばすことも考えなくてはならないかと思えます。</p>
<p>(市民⑫)</p>	<p>確認ですが、これ（定住奨励制度）変更ありませんね。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>27 年 1 月 1 現在までに新規に住宅取得ということで、受け付けております。</p>
<p>(市民⑬)</p>	<p>今回の報道で、家を建てるつもりの方が何人遠のいたか分かりません。袖ヶ浦市・木更津市のように人口が増えているところを参考にして、交通の便や若い人が住めるような、人口が増えるような市にこつこつ進めてもらいたい。 市役所の方も他市に住んでいる方もいると聞いたので、そういうことでは若い人も減りますし、若い人を残すような考えをしてください。</p>
<p>(市民⑭-1)</p>	<p>富津市は、財政再生団体になってしまうのでしょうか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>赤字額が税収等に対する割合が、20%を超えた場合、財政再生団体となる可能性があります。まず目前の 3 億円を改善すること、また、事業を見直しすることで、28 年度以降にも生きて参ります。そういった回避のための経営改革と考えていただければと思います。</p>
<p>(市民⑭-2)</p>	<p>経営改革はあるでしょうが、やれるのかどうか。市民は、覚悟していないといけないのか。そこをお願いします。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>私どもは、財政再生団体にさせない、破たんしないという決意です。今後、収支の状況、改善の状況をお知らせしていきます。</p>
<p>(市民⑮-1)</p>	<p>先ほど、財政調整基金が増えた説明はあったのですが、平成 24 年に</p>

	<p>特定目的基金が増え、財政調整基金が減っている理由の説明が無かったので、財政調整基金しか貯金として使えないのですか。合わせた額が貯金になるのか教えてください。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>特定目的基金とは、福祉・学校教育の振興等の事業のためにいただいた寄付等の原資を基に、積み立て、その事業のために使用しております。財政調整基金については、災害等急な事態に備えるための貯金という使い方をしております。</p>
<p>(市民⑮-2)</p>	<p>用途別というのはわかるのですが、24 年度に逆転するように特定目的基金が増えた理由を教えてください。 財政調整基金しか財政の担保・補てんはできないものですか。使える方に回すことはできないのですか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>24 年度については、千葉県から下水道の終末処理場整備のためのお金を頂きました。これを基に今後の整備に充てていきます。目的のなかで、有効に使われているか、整理・見直しをしていかなければならないと考えております。</p>
<p>(市民⑯-1)</p>	<p>根本的な質問なのですが、収入が少なくなった原因を教えてください。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>大きなもので東京電力さんの固定資産税・法人税がありましたが、固定資産の償却資産が年々目減りしております。また、東日本大震災があったことで、法人市民税が目減りしてきてしまっています。今後も、このような状況ですと、法人市民税は見込めない、また、新しい設備投資も望めないなかでは、固定資産税も落ち込むということです。 また、人口の減少・景気低迷から個人市民税も減少になるだろうということです。</p>
<p>(市民⑯-2)</p>	<p>東京電力さんから税金があがってこないのはおかしいんじゃないですか。税金が納められていないということですか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>納められていないというより、税金そのものが目減りしているということです。</p>
<p>(市民⑯-3)</p>	<p>結局、市民の税金が上がるということですか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>個人の住民税・固定資産税の前に、まず、行政が身を削るべき事業について取り組んで参ります。</p>
<p>(市民⑯-4)</p>	<p>資料が、あまりにも漠然すぎます。ピークのものとは今を比べるだけでは何かを包み隠しているように感じます。</p>

<p>企画財政部長</p>	<p>これまでの財政運営を真摯に反省しております。これまでの行財政改革の取り組みは、人件費に偏っておりました。経費の削減・縮減や事業の休止・廃止を含めて行っていくということでございます。</p>
<p>(市民⑰-1)</p>	<p>中期の収支見込を出すときは、過去 5 年間の実績から並べながら、今後を出したほうが分かりやすいので、そのようにしていただきたいと思えます。</p> <p>先ほど質問がありましたが、特定目的基金と財政調整基金で、融通ができるのでしょうか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>特定目的基金は、使途限定でございます。</p>
<p>(市民⑰-2)</p>	<p>状況を適宜、市民に説明していただければと思います。</p>
<p>(市民⑱-1)</p>	<p>市長が、具体的なことを、リーダーシップを持って言ってくれば納得しますけど、「これから検討します。」「今までのことは反省します。」では、市民は納得しないと思えます。</p> <p>先ほどの放射性物質の処理場も市長は「話を聞いていない。」とのことですが、話が来てもやりませんとは答えなかったですね。</p> <p>責任を取って辞めるとか、信を問うとか、市議会を解散するとか、そういった考えはありませんか。</p> <p>先ほどあまり心配ないと言っていました、あまり心配ないということでしたら、記者会見をする必要は無かったのではないですか。</p> <p>市長として、これからどういったリーダーシップを取るといった決意を聞きたいのですが、あるのでしょうか。</p>
<p>市長</p>	<p>私が先頭になって、職員・市民の皆さんのご理解、ご協力を頂きながら経営改革を断行していくということでございます。任期のなかでできるだけ解消をしていくということでございます。</p> <p>特別職報酬についても見直していくということで進めております。</p> <p>指定廃棄物の関係ですが、候補地に決まった、決めるということは聞いておりませんし、富津市には 2 か所ありますので、いりませんということは申し上げてあります。</p>
<p>(市民⑱-2)</p>	<p>放射性物質の処分場を作る場合の補助金を狙っているという考えから、このように危機感をあおっているように考えてしまい、非常に不安です。「話が来ても断固として断ります。」と言って貰えれば安心です。お願いします。</p>
<p>市長</p>	<p>4 か所のうち、富津市には 2 か所あるので結構です、という話しはしてあります。</p>
<p>(市民⑲-1)</p>	<p>先ほどの説明のなかで、経営改革会議に市民を入れない理由で、「市民はしがらみを持っている」と言われたことが、ものすごく頭にきまし</p>

<p>総務部長</p>	<p>た。ここに来ている人たちは、市のことを考えて来ているんです。それを、市民はしがらみがあるから入れないというのはどういうことですか。馬鹿にするにも程があると思います。10：30 までに来てくださいということですが、30 人しか入れないのであればどうするんですか。中継するのですか。</p> <p>申し訳ないのですが、30 名ということでご案内しております。第 1 回目ということで市の状況を説明する。そして、午後から市内の主だったところを回って、現状を見ていただくということを考えております。今後、2 回目以降についてはもっと広いところを用意したいと考えております。中継はございません。</p>
<p>(市民⑱-2)</p>	<p>それはどうしてですか。中継しなくても後で録画を流すインターネットで流すこともできると思います。聞かれたらまずいことでも話すんですか。30 人ということですが、市民が減ったとはいえ何人いると思っているんですか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>会議録は、当然作って公開いたします。動画については、情報公開の関係で、審議会で決定いただくこととなっておりますので、そのなかで諮っていきたいと考えております。</p>
<p>(市民⑱-3)</p>	<p>先着なのか抽選なのか分かりません。行ったけど見られない、となった場合はお引取りくださいということですね。</p>
<p>総務部長</p>	<p>先着になると思います。申し訳ないのですが、30 名ということで今回やらせていただきます。</p>
<p>(市民⑱-4)</p>	<p>今後できるだけ大きな会議室で、できるだけ多くの市民に見てもらうようにやってもらいたいと思います。</p> <p>公共施設の見直しというところで、市長は、「売却または広域化」という表現をされましたが、広域化とはどういう意味ですか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>例えばですが、富津市は広い運動施設を持っております。これを 4 市で使っていますが、使うのであれば使う市で負担いただけないかという検討をするべきではないかという意味合いです。</p>
<p>(市民⑱-5)</p>	<p>今の広域化については、富津公園の施設だと思いますが、旧庁舎や、旧消防署や、これから先老朽化する公共施設の見直しをしていかななくてはならないなかで、取り壊しや、指定管理者制度のように地元でということになるのか教えてください。</p>
<p>総務部長</p>	<p>公共施設の再配置の計画につきましては、中長期で考えていく必要があると考えますので、経営改革会議のご意見を聞きながら、検討して参ります。検討をしたなかで、売却、取り壊し等の決定をしていきます。</p>

<p>(市民⑱-6)</p>	<p>万が一、破たんした場合、どういう状況になるのかお聞かせ願いたい。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>資料に、財政再生団体になった場合と記載しておりますように、これまで市の判断で行っていたサービスが制限され、各種手数料の引き上げ、サービス水準の低下等、皆様に多大な影響が生じます。</p>
<p>(市民⑱-7)</p>	<p>市民は、しがらみがあると言われましたが、新しい防災センターを海抜十数メートルの位置にあえて建てたのは、しがらみがあったからじゃないですか。</p> <p>極論ですが、国の管理化になった方が、全くしがらみの無くなった行政運営ができるのではないかという考えもあります。</p> <p>この会に当たって数年分、議会だよりを見ました。質問も答弁も的確ですが、何でこういう状況になるんですか。行政の方に能力が無いように思えます。</p> <p>説明会を開いてもらったのですが、あまりにもこの資料では大雑把で分かりづらい。</p> <p>経営改革会議は、できるだけ多くの人が目にするように、また、市民の声も取り入れてやってもらいたいと思います。</p>
<p>(市民⑳)</p>	<p>有識者を集めて行う会議の件ですが、1回目に状況説明して現地を見ていただくということですが、事前に、有識者の方々に資料を渡し、1回目は、それぞれの立場の方に富津市の問題点を挙げていただくところから入ってほしい。そこから現場を案内した方が有効だと思います。</p> <p>先ほど、市長車を小さくするという話がありましたが、私は大きくていいと思います。そんなことを聞いているのではなく、要するにやる気の有無を聞いたかったのではないかと思うんです。第1回目はそう進める。第2回目は、それを受けて先に進めるという展望を話していただければ、30名しか傍聴できなくても、分かる方法を示してください、で終わると思います。一步遅いので、一步進めた方法をとっていただけたら納得していけると思います。</p> <p>人件費を削減して、成果が上がったとのことですが、どのようにして下げていくのか。私が見る限りですと市の職員が遊んでいるということはないと思います。それが人数を削減されるとサービス等で支障が起きると思います。</p> <p>富津市の職員の賃金は、そんなに高くないと聞いております。それを削減すると気持ちが上がらないじゃないですか。当面はそれでいいかもしれないけれど、長い目で見ると、あまりよい政策とは思えません。</p> <p>実際 15 億円減少した裏にはデメリットがあると思います。その当たりの説明も言っていないかと、正しい理解にはつながりません。</p>
<p>総務部長</p>	<p>1回目に説明では遅いというご指摘ですが、資料については、事前に配布いたします。数字の状況は見ていただいて、質疑を頂くということで考えております。</p>

	<p>人件費の削減により、やる気、サービスの低下を招くというご指摘ですが、今年 4 月 1 日で職員が 508 名おります。平成 22 年度から 27 年度までの定員適正化計画があり、目標値を 500 人としております。今年度退職を予定している人数が、定年・勸奨で 40 人程予定しております。来年度採用 3 人と抑制しております。37 人が減ることになりますので、目標値はクリアします。</p> <p>人口が減っているなかで、今現在どのくらいが適正なのかということで、関東・千葉県レベルで比較したところ、多くないという結果が出ました。ただし、平成の大合併がありました。合併し、職員が多いところと比べれば、富津市は多いということになります。合併した市町村を除いて比較してみましたところ、多いという結果が出ました。</p> <p>それに基づきまして、概ね 5 年後に 90 名弱を削減していきたいということで考えております。</p>
(市民⑳)	<p>重複した質問が出ないように補足はされているようですが、資料が足りないので、重複した質問が出ているようです。この資料に関しましても、この説明会のための資料ではなく、ホームページに載せている資料のようで、非常にずさんかと思えます。</p> <p>有識者のうち、会社社長は富津市民ということですが、選定基準が分からない。</p> <p>ネット配信のことにしても、公開前提で進めればいいのではないですか。公開反対のような意識の低い有識者はいません。配信前提で、市民全員がいつでも見られるように進めていただきたいと思えます。</p>
(市民㉑-1)	<p>最後に確認なのですが、「5 年後に財政破たんはしない」ということでよろしいですか。</p> <p>市長はずっと下を向いています。我々は、あなた方からするとお客さんですよ、お金を納めているのですから。お客さんに対して下を向くというのは考えられません。</p> <p>財政破たんはしないと発信してください。</p>
市長	<p>何とか赤字が出ないように、経営改革を断行して参ります。</p>
(市民㉑-2)	<p>リストラを市から始めているということによろしいですね。</p>
総務部長	<p>リストラは行っておりませんが、削減していくということで進んでおります。</p>
(市民㉑-3)	<p>人件費のほかに、見直せるものは見直していくということによろしいですね。</p>
総務部長	<p>はい。</p>
(市民㉑-4)	<p>「5 年後に財政破たんはしない」ということで確認しました。</p>

総務課長	<p>多数貴重なご意見をありがとうございます。意見につきましては、重く受け止め参考にさせていただきます。</p> <p>最後に、市長よりご挨拶を申し上げます。</p>
市長	<p>夜分遅くまで説明会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>いろいろとご提言いただきました。これを心に留めて、また、性根を入れて対応して参りたいと考えておりますので、今まで以上にご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げ、お礼の言葉にさせていただきます。</p> <p>本日は、誠にありがとうございました。</p>
総務課長	<p>以上で説明会を終了させていただきます。長時間ありがとうございました。</p>

以上